

キャリア自律支援とは能力開発である(4)



田中春秋

キャリア研修センター 代表

キャリアカウンセリング協会 特別講師

キャリア・コンサルティング協議会 特任講師

たなか・はるあき ●2003年キャリアカウンセリング協会設立(事務局長)。キャリアカウンセラー養成講師、スーパーバイザー、研修講師等を務め、07年キャリア研修センター設立。資格団体や資格の有無を超えてキャリア支援者の育成に努めている。スーパーバイザー(キャリアカウンセリング協会認定)、1級キャリア・コンサルティング技能士、GCDF-Japanキャリアカウンセラー(米国CCE認定)

これまでの三回で企業にとつてのキャリア支援の意味を説明した。キャリア自律支援は能力開発であり、個人の成長を目的に実施する、と。カウンセリングを勉強された方は、この田中春秋という人は、企業の手先で個人の幸せとか全く考えてないのではないのか? 能力が伸びる強者はいいけれど多くの十分成長できない弱者はどうするのか? と疑問をもたれたのではないか。

これまで書いたことを個人の視点から見たらどうなるか?

キャリアアカウンセラーとして私は、クライアントが幸せになるために基本的に二つのメッセージを伝える。

「能力を伸ばせ」

「信頼ネットワークを築け」

さらに能力については「全ての能力が高い人などいない。自分に力がなくても(5)周りを巻き込む力があれば、問題を解決することができる」「(5)の周りを巻き込む力は何にでもなるワイルドカードなのでここは育てろ」と。

問題を乗り越えるための能力や資源が足りない場合、それを他者にサポートしてもらおうというのが大事な視点。では、どうやれば足りない鍵をもっている人を巻き込めるか? 長い期間をかけて築いた「信頼」で手に入れる方法もあれば、(10)自分の強み、と交換して手に入れる方法もある(なので一つ強みをもつことは重要)。(2)問題解決思考で、お金を払って手に入れる方法もある。サポートを手に入れるのは実はけっこう大変。

しかし、会社の仲間の能力が上がり、会社全体で(あるいは管理職以上は)仲間を助けることが普通になっていけば、サポートを手に入れる難度が大幅

に下がる。(5)の周りを巻き込む力が高くなってもサポートが手に入る。つまりソーシャルサポートが充実する。企業がキャリア支援を促進することにより、個人は(キャリアアカウンセラーのような専門職がいなくても)キャリア問題を乗り越えられる可能性が上がる。組織全体で考えたと、強者を強くし、助け合いを促進し、弱者も助けてもらい、組織全体が仕事の解決力が強くなるだけでなく、キャリア問題の解決力が高くなる。人生を幸せに生きている確率が高くなる、と私は考える。

大きな問題に直面し、解決するための能力が個人になく、しかも(5)周りを巻き込む力も低く、周りも手を差し伸べてくれない場合どうするか? あるいは原則上司がサポートする仕組みにしても、やらない・やれない上司がいる場合どうするか? こういう場合にこそ組織の中に個別のキャリアアカウンセリングがあることが望ましい。緊急でなければキャリアアカウンセラーはここをその個人の成長の機会に育てるし、育てるだけの時間的猶予がなければ、選択肢を提示し選べるぐらいまでサポートする(全管理職が直接サポートできるのが理想だが、管理職の昇進維持の条件に入れない限り現実には難しい)。

企業に「キャリア自律支援は能力開発である」だから積極的に導入したほうがよい、というのは、一人ひとりの個人を幸せにするための「方便」である。

グローバル化の中、日本で雇用を維持するには国民一人ひとりが成長することが重要。個人も企業も日本も繋がっている。キャリア支援は社会にとつても推進すべき重要なテーマだと私は考えている。企業でのキャリア支援の一層の積極導入に期待している。

成果を上げるレベルを上げるための要素例

成果を上げるレベルを上げるための要素例

- (1) ビジョン(志)を持つ
- (2) 課題解決思考(分析的思考)
- (3) 新技術の理解
- (4) 情報探索力/ネットワーク構築
- (5) 周りを巻き込む力(コミュニケーション/ダイバーシティ/誠実)
- (6) 育成力
- (7) 積極対処力(ストレス対応力/変化対応力/勇気)
- (8) 自律意識(自己理解/組織理解/顧客指向性/セルフコントロール)
- (9) 経験と概念化力(状況/選択肢/評価基準等理解)
- (10) 強みを作る・専門性を高める(熟達)
- (11) 時間管理・優先順位
- (12) チームワーク・役割徹底(強制力含む)
- (13) 仕事理解
- (14) やる気(達成行動)
- (15) 振り返りの習慣

注: レベルはハイコンサルティンググループ著「コンピテンシーの使い方」および川上典史著「会社を変える社員はどこにいるか」を参考に作成。
レベルを上げるための要素は田中春秋作成(暫定版)
©2010 キャリア研修センター

